

神池日本語教室 日本語パートナー研修会

【 日時 】 2009 年 1 月 29 日 (木) 19:30~20:30

【 場所 】 県営神池住宅 集会所

【 授業担当 (プログラムコーディネーター) 】 北村祐人、鎌田美保、中村直子

1. とよた日本語学習支援システムとは

概要 :

このプロジェクトは、豊田市に住んでいる、または豊田市で働いている外国人の日本語学習を支援するという豊田市の事業で、現在、名古屋大学が豊田市から委託を受けて、平成 19 年度の実態調査に始まり、平成 20 年度から具体的な教室運営を始めているプロジェクトです。今後も、企業内、地域内で日本語教室を開いていく予定なのですが、この神池教室が第 3 教室目となります。

目的 :

このプロジェクトの目的として、外国の人にとっては日本語を話す、学ぶ機会を得ること。日本人にとっては、外国人とのコミュニケーションの仕方を学んでもらうということの 2 点がいえます。そして、地域、企業にとっては、日本語を使って交流をし、日本人にとっても外国人にとっても住みやすい地域、働きやすい職場にするということが目的となるかと思えます。

2. プログラムコーディネーターとは

- ・ 毎回教室の担当者としてみなさんの教室活動の進行役を務めます。
- ・ 教室活動中に疑問や質問があればそれに対して提案をしたり、どうすればいいかいっしょに考えていきます。
- ・ 教室活動ではパートナーや学習者に対し直接的な働きかけをするのではなく、パートナーと学習者のやりとりがお互いの学びにつながるようにサポートしていきます。
- ・ 教室活動を通して、学習者との関係性や、よりよい地域づくりのためにどうしたらいいかをみなさんといっしょに考えていきます。

3. 日本語パートナーの役割

このプロジェクトでは日本語を学ぶ外国人と会話をする日本人（もしくは日本語の上手な外国人）を「日本語パートナー」と呼びます。教室に日本語を学びに来ている外国人は「学習者」と呼びます。

⇒日本語パートナーとは？

- ・ 教えるという立場ではなく、共に学ぶという姿勢が大事。
- ・ 正しい日本語を教える(又は指導する)教師ではなく、日本語で真のコミュニケーションを行うパートナーとして日本語学習者と接する。
- ・ 日本語を使う機会を多く与える。学習者は使う過程で試行錯誤しながら理解し、その結果、日本語を使う技術を身につける。

⇒具体的には？

- ・ まずは自分のことを話す。それによって、学習者も「何を、どう言えば、自分のいいたいことが伝えられるか」を知るヒントとなる。
- ・ 一度で伝わらなくても、どういうふうになれば自分の言いたいことが伝わるか、試行錯誤しながら相手が理解できるまで伝える努力をする。
- ・ 相手がすぐに自分の言いたいことが伝えられなくてもとにかく「待つ」。相手が自分の持っている力を駆使して伝える努力をするのを「待つ」。
- ・ 質問するときにも、答えるときにも、教科書的、教師的な受け答えではなく、本当に知りたいこと、聞きたいことを聞き、答える。それにより、新たな話題・興味が広がり、知りたいという気持ちが生まれるかもしれない。そのことが日本語を学びたいというモチベーションにつながる。
- ・ 安易に翻訳に頼らない。それにより、学習者にとっても、日本人にとっても「わかりやすい日本語」を使う能力が身に付く。

4. 教室活動の流れ (会話クラス)

＜教室活動の流れ＞ (計 60 分)	
ー0:05	入室→名札装着→着席
0:00～	個人レベルでの内容の活性化
0:05～	グループレベルでの内容の活性化
0:10～	プログラム・コーディネータによる実演 (テーマの確認とモデル会話)
0:15～	ペア／グループワーク① →各ペア／グループでミニ意識化
0:25～	ペア／グループワーク② →各ペア／グループでミニ意識化
0:35～	ペア／グループワーク③ →各ペア／グループでミニ意識化
0:45～	ペア／グループワーク④ →各ペア／グループで今日のまとめ
0:50～	学習者のワークシート「自己評価欄」記入。 ワークシートを記録用に写真撮影
1:00	終了
～1:10	本日の振り返り(パートナー&学習者)→解散

(読み書きクラス)

基本的に「少し話せるが読み書きは難しい／読むことや書くことができるようになりたい」という人のためのクラスです。学習者に「これが読みたい／書きたい」というものを持ってきてもらったり、「これが読める／書けるようになったほうがいいのでは」というパートナーや地域の方の提案をもとに、毎回の内容を進めていきたいと思えます。パートナーは学習者といっしょに読んだり、書いたりすることをおして、学習者は「何ができて何ができないのか、何が難しいのか」を理解し、学習者にとって「どんなことが必要なのか、何を知ってもらえばいいのか」などを考えながら接することが大切になります。

5. テーマ：内容 (予定)

どちらのクラスも、学校教育、病院、仕事、日常生活、地域行事など、みなさんが興味のあるテーマ、内容について勉強します。テーマ、内容、順番は適宜変更する可能性があります。

	会話クラス (予定)	読み書きクラス (予定)
1	能力判定	
2	個人に関する事柄	個人に関する事柄 (名前／住所など)
3	仕事に関する事柄	家族に関する事柄 (子供の名前など)
4	家族に関する事柄	看板・標識に関する事柄 (団地内にある看板など)
5	学校教育に関する事柄	学校のお知らせに関する事柄
6	日常生活に関する事柄	病院に関する事柄
7	病院に関する事柄	
8	地域行事に関する事柄	
9	お勧めの場所	
10	料理・食べ物に関する事柄	
11	アンケート／まとめ	

※「読み書きクラス」で取り上げたいテーマ、内容（外国人に知っておいてほしいもの）などあればご提案ください。

《教室概要》

【期間】平成21年2月5日～平成21年4月23日（3月19日を除く）毎週木曜日（全11回）

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回
2/5	2/12	2/19	2/26	3/5	3/12	3/26	4/2	4/9	4/16	4/23

【クラス／時間】

「会話クラス」／「読み書きクラス」共 19:30～20:30（60分）

【場所】：県営神池住宅 集会所

※1. 参加可能な日時で結構です。

※2. 「会話クラス／読み書きクラス」どちらに入るかは、その日の教室の状況によって決めさせていただきますので予めご了承ください。

※3. 毎回教室の入り口に「パートナー出欠表」を置いておきます。初回、ご自身の参加予定をご記入いただき、それ以降変更があった場合は、メーリングリスト（後日お知らせします）または名古屋大学留学生センター衣川研究室までご連絡ください。

名古屋大学留学生センター 衣川研究室

Tel/Fax: 052-789-4700 / メールアドレス: toyota-jimu@ecis.nagoya-u.ac.jp

【参考】とよた日本語学習支援システム HP <http://www.toyota-j.com/>